

行政視察報告書

令和7年7月20日

長浜市議会議長 高山 亨 様

長浜市議会議員 矢守 昭男

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 新しい風 会派視察研修
2. 視察期間 令和7年7月14日（月）～7月16日（水）
3. 視察場所及び目的
 - ①熊本県熊本市
「企業誘致および未来投資促進施策について」
 - ②長崎県大村市
「市立大村市民病院の再編と指定管理者制度について」
 - ③福岡県福岡市
「C I C福岡・スタートアップ支援と企業誘致政策」について
4. 調査内容感想等

1日目 熊本市「企業誘致および未来投資促進施策について」

1. 視察の目的と背景について

半導体関連企業を中心として熊本市はここ数年間の積極的な企業誘致の政策を展開しており国内外から非常に注目されている地域であり、世界最大級の半導体企業であるTSMCが熊本に進出されて地元企業の経済に与える影響、産業政策に与え、今回の視察研修で長浜市の課題となる企業誘致、企業立地を促進や地域経済活性化、雇用創出にどのように効果をもたらすか学ぶことを目的として視察研修となります。

長 浜 市 議 会

2. 視察内容の詳細について

・熊本市が企業誘致において最も重視されている戦略・方針について

民間企業への支援体制の課題解決策を熊本市の戦略・方針に反映させた事により企業と更なる連携強化が図れていました。

・熊本市独自の企業立地支援制度(税制優遇・補助金等)について

立地環境調査の視察支援金の半額の 35,000 円(1 人辺り金額)や企業立地補助金制度や県との補助金(最大80億円)により各企業立地が支援体制の拡充により企業立地支援体制の実績結果のつながり更に加速度的に進めておられます。

・TSMC誘致の効果と影響について

TSMC誘致による雇用創出効果や経済波及効果については直接雇用創出により不動産業、飲食店、建設業など連携強化により周辺産業の環境の変化や波及効果がみうけられました。

・人材育成・雇用対策について

高校、大学、専門学生などとの連携体制により地元半導体製造関連企業、都市圏の高規格道路で 10 分、20 分構想の推進に向けて取り組んで、大学進学先で人気の回復へ繋がり人材育成・雇用対策で地元企業の地域活性化は進められています。

・中小企業・地元企業との連携事業について

北熊本スマートインターチェンジや九州自動車道の活用を活かして物流センター施設整備や国道 30 号線、戸島町北地区の産業団地などアクセスにより中小企業誘致に繋がる連携事業を行われています。

3. 行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

熊本市の取組で民間企業への支援体制により、企業立地や企業誘致に繋がる企業立地支援体制の立地環境調査費用の半額負担金や県の企業立地補助金制度により規制緩和・インフラ整備及び人材育成に繋がる取組について、長浜市と滋賀県の補助金制度について支援策を求める必要があります。

また(仮称)神田スマートインターチェンジ、小谷城スマートインターチェンジ、木之本イ

ンターチェンジの更なる活動支援策について、農地の活用状況調査での改善策、周辺環境整備により長浜市内のスマートインターチェンジ等の土地の利活用を進める事が必要不可欠であり、補助金制度の見直し等や国、県、長浜市との連携強化を更に進める必要があると感じました。

2 日目 長崎県大村市「市立大村市民病院の再編と指定管理者制度について」

1. 視察の目的と背景について

厳しい経営状況であった大村市立病院は平成 18 年 1 月には「大村市立病院再生プラン 2005」を策定し、病院経営の改革の推進を図られましたが、患者数及び医療収益の減少が続き、将来の見込みによると平成 23 年度の累積不良債務が約 25 億円に膨らむ見通しとなり、懇談会での厳しい経営状況の克服には、公設民営の指定管理者制度が望ましいとの結論に至りました。そこで病院経営状況を緩和見ても長浜市も同様に財政状況が厳しい中で医師確保の課題解決策として大村市の制度運用の実績や成果を把握して長浜市も市民に寄り添って病院再編、病院再建に向けた取組としてさんこうなる視察目的の内容となります。

2. 視察内容の詳細について

・病院再編にあたり、地域住民や医療関係者への説明・合意形成の進めについて
地域住民に対して、市の広報誌等を基本方針を掲載し、その後も指定管理者制度導入の経過から移行までの記事を定期的掲載するなど地域住民への説明に努められ、医療関係者(病院職員)に対して、組合との交渉を多く開催をされている事が非常に重要とのことで参考になりました。

・再編後の地域医療体制への影響の評価について
指定管理に移行し、16 年間が経過しましたが、指定管理者病院会計は、医業収支赤字基調で推移しているものの、政策医療の提供に対する政策医療交付金等の収入を含めると概ね黒字経営で安定した経営を続けておられます、長浜市においても指定管理者とで安定した病院経営に努めると共に持続可能な医療提供体制を構築して頂きたいです。

3. 行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

全国の病院経営は赤字となり財政状況が厳しい中で病院再編、病院再建に向けて取り組んでいる長浜市として、大村市は指定管理者制度の導入後も行政、議会も責任を放棄することなく、医師確保、病院運営体制での積極的に取組でおられる事を参考にして、長浜市においても今後の取組で病院事業管理者と長浜市も病院政策にとって重要な課題解決に向けた取組を進めることを目標にします。

3日目 福岡県福岡市「C I C福岡・スタートアップ支援と企業誘致政策」

1. 視察の目的と背景について

福岡市は、スタートアップ支援や起業促進では特に先進的な取り組まれています。2025年5月に開設された「C I C福岡」は、世界的なスタートアップ支援拠点である米国ボストンC I Cの日本での拠点として、福岡をアジアのスタートアップ拠点を目指しておられます。またグローバル創業・雇用創出特区としての制度活用など地方都市におけるスタートアップ事業について学びの場となりました。

2. 視察内容の詳細について

・スタートアップエコシステムの構築理念について

日本では東京都でスタート、福岡でも起業できる環境整備を理念して創業支援、資金調達、販売ルートや支援体制が行われています。

・拠点整備と運営体制について

F G NやC I C福岡の運営体制は指定管理者制など中小企業診断士との連携体制が重要で行政と民間企業への支援体制で高い専門職のスキルアップ等に繋がる。

・C I Cイノベーションキャンパスについて

スタートアップ向けのワークプレイスプライベートオフィス143室やコワーキングスペースなど提供されています。

またイノベーション創出プログラムを実施やオフィステナントなど全ての人々が開かれたイベントにより優良なスタートアップ企業との協業やグローバルに展開するコミュニケーションの場もスカイロビーでおこなわれています。

3. 行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

入居企業の声聞きC I Cで出会いが即ビジネスに繋がる為の取組として、新規事業開発を支援する。C I C TOKYO に入室している企業同士の連携や意見交換会、交流会によりC I Cが単なるオフィスでなく、ビジネス環境が自然と快適な空間図形と成長していく最大限に活用できる場として、長浜市としても定期的

に長浜市での支援体制で高校生、大学生など、企業との連携体制で市としての研修会場の場として、東京、福岡、次なる開校予定の大阪など今後のC I Cスタートアップ事業の成果を長浜市の政策形成や議会での取組を提案してまいります。